

FY2020(2020年3月期)決算説明会、および、以降のQ&A

●第1回：2020年5月13日（Q1～13）

●第2回：2020年6月4日（Q14～23）

Q1 全社：今回の特別損失（固定資産の減損、投資有価証券評価損）について補足説明がほしい。関連して、政策保有株の圧縮の状況はどうなっているのか、今後の対応も含めて聞かせてほしい。

A1 ・COVID-19の影響も鑑み、GA、PE事業の推移を保守的に見て固定資産を減損した。
・投資有価証券評価損は、COVID-19の影響による評価下落。
・政策保有株については、既に80億円規模で減らしており、今後も保有意義を総合的に判断して対応していく。

Q2 全社：今期（FY2021）の業績見通しを見送られたが、設備投資額、減価償却費、研究開発費についてはどのような方向性をお持ちか？数字が出せないなら、考え方だけでもコメントいただきたい。

A2 現在は数字を出せないが、スロースタート（抑えめに）とし、COVID-19による移動制限などが解除される場面ではアクセルを踏むなど、臨機応変に対応したい。

Q3 全社：1Q予想を示されたが、受注残も相応あり、4Q比で収益性がどの程度改善するのかなど、見通しの精度を高めてほしい。今期（FY2021）は収益性改善に注力されると思うが、COVID-19の影響やリスクは？

A3 内部の収益改善は確実に進めている。COVID-19の影響もあり、現段階では具体的な数字は申し上げられないが、1Qは、前年同期比で増収増益と予想。売上は前期（売上582億円、営業利益▲44億円）より悪くなることはないとしている。

注) 上記質問の際、SPEの収益性について質問が出ましたが、4Qと同等程度か？とのご質問に対して、回答者は、社内の管理指標である変動費率を意識して回答しましたが、営業利益率を指したものではありません。

Q4 全社：1QのCOVID-19の影響は、どの事業に出ているのか？

A4 全事業であると言える。例えば、SPEは商談のクロージングが通常より長引いており、FTは立ち上げに影響、GAは業界での投資意欲の低下（スローダウン）など。一方、PEは5Gの（お客様の）投資意欲が強まっており、キャッチアップしていきたい。

Q5 全社：米国の装置メーカーが中国顧客への納入を見合わせているようだが、何か聞いているか。米中貿易摩擦の影響だとすればどう見るか？業績にどのような影響を及ぼし得るか、現時点で見えていることは？

- A5 現時点では、米国の装置メーカーの対応が、COVID-19 の影響なのか、貿易摩擦によるものなのかは不透明で、何とも言えない。もしも、貿易摩擦による影響であれば、当社は相応のビジネス規模を中国に有しており、それなりのインパクトはあると思う。
- Q6 全社：新中計の発表を見送られたが、プレゼンに記載されている「ポートフォリオ構築」とは、製品ごとの取捨選択など、従前より踏み込んだ施策を採るということか、社長のお考えを伺いたい。
- A6 全事業、聖域を設けず見直したい。現時点では COVID-19 の影響が読み切れない部分もあり、然るべきタイミングで、皆様にお伝えする機会を設けたい。
- Q7 SPE：4Q 受注高について。上振れて着地したとのことが、どの程度の上振れか？
- A7 500 億円半ば程度を予想していたが、624 億円で着地（ファウンドリーが想定より強かった）。
- Q8 SPE：1Q の受注高予想は？
- A8 400 億円半ばを予想。引き続き、ファウンドリーが強い。
- Q9 SPE：ファウンドリー、ロジックについての今後の見立ては？
- A9 ファウンドリーの設備投資額に大きな変化はないと考える、COVID-19 の影響は、注視していくが、楽観も悲観もしていない。ロジックについても同様の見方をしている。
- Q10 SPE：メモリーについて。投資に向けてアクセルを踏み出された半導体メーカーがあるなど、良いニュースを耳にするが、最新の変化、方向性について聞かせてほしい。
- A10 お客様との商談では、装置の納入時期など、クロージングに若干時間を要すケースもあるが、需要の衰えは感じない。
- Q11 SPE・FT：COVID-19 の影響について。デリバリーに差が出てきているのか？
- A11 調達・生産については、全く問題ない。納入には一部遅れが生じている。お客様の投資が消えたわけではなく、悲観的には見ていない（最終需要に紐づくタイミング次第）。
- Q12 FT：4Q 受注高について。上振れて着地したとのことが、どの程度の上振れか？
- A12 1 月予想では 50 億円前後想定だったが、69 億円で着地した。
- Q13 GA：世界経済全般にスローだとすると、（GA の）商業印刷は落ちると見るが、新年度、事業環境をどう見ている？
- A13 今期（FY2021）は、COVID-19 の影響が顕著。お客さまの投資マインドが冷えてきており、最終的な商談のクロージングに時間を要しているが、少しでも改善できるようにしていきたい。

Q14 全社：FY2020 4Q に減損（15.7 億円）の内訳は？

A14 GA で 11.8 億円、FT で 2.0 億円、PE で 1.6 億円（決算短信 p.14 に記載）。

Q15 全社：（上記 Q14）減損により、今後の減価償却に与える影響は？

A15 今期（FY2021）より、数億円レベルの減少効果を見込んでいる。

Q16 SPE：4Q の受注高では、ファウンドリーが 55% と比率が高かったが、地域別の内訳は？

A16 多い順に、中国（複数社）、台湾。

Q17 SPE：今期（FY2021）1Q の受注高ガイダンスは 400 億円半ばだが、4Q 比（QoQ）で減少するアプリケーションは？ガイダンスからの増減の可能性は？

A17 ・現状の見方では、4Q まで高水準が続いたファウンドリー、ロジック、画像素子は、いったん減少すると見ている。

・COVID-19 や米中貿易摩擦の影響などにより、ここしばらくは、受注時期は多少遅れ気味になると見ている。

Q18 SPE：3Q 決算時に説明があった「受注スライド（6 カ月程度の遅延）」の現在の状況は？

A18 最近の報道にもあるとおり、少し遅れそうだと見ている。

Q19 SPE：FY2018 の営業利益率 16% 以来、利益率が低迷しているが、収益改善の取り組み内容は？今後の改善見通しについて話してほしい。

A19 詳細については、次期中計を発表する際にお伝えするが、主な施策は次のとおり。

1) FY2019 で混乱したサプライチェーンに対する施策は完了しており、徐々に成果が出てくる見込み。

2) 前期（FY2020）に稼働した新工場 S3-3（エスキューブスリー）の稼働率を上げる。

→そのためにも、S3-3 での生産に適した枚葉洗浄装置（標準化率の高い SU3200、3300）を増やす（装置仕様確定時期の早期化がキーファクターとなる）。

Q20 SPE：WFE の見方について、今回のプレゼンには触れていないが、どのような見方をされている？

A20 CY2020 については元々（1 月ごろまで）、前年比+5%程度と見ていたが、（現在は）年後半が見通しづらく、マイナスもあり得ると見ているが、逆に、プラスになる可能性もある。それほど、予想しづらい状況（中期的には、市場成長するとの見方には変化なし）。

Q21 FT：前期（FY2020）の売上、受注高における、中小型 OLED 向けの比率は？

A21 FT 連結売上の 20% 強、受注高の 80% 弱を占めている。今後も受注の中核をなす。

Q22 FT：今期（FY2021）の 1Q の受注について、ガイダンスは？今後の方向性は？

A22 上期はかなり低水準と考える。COVID-19 収束後は、中小型 OLED 向け受注が入ると思われる。

Q23 PE：足元の事業環境、今後について教えてほしい。

A23 昨年末にかけ 5G モバイル向けの引き合いが強くなったが、COVID-19 の影響でビジネスはいったんスローダウン。足元では再び投資が増加傾向にある。

〔備考〕

HD: ホールディングス、SPE: 半導体製造装置事業、GA: グラフィックアーツ機器事業、
FT: ディスプレー製造装置および成膜装置事業、PE: プリント基板関連機器事業